

DeviceXPlorer OPC Server - SQLデータベース接続性 -



2024年3月

SQLデータベース接続性

デバイスエクスプローラOPCサーバーは、PLCなどのデバイス機器との接続性と 同じように、ODBCドライバーを介したSQLデータベース接続性を備えています。

SCADA/MES



BIツール



ERP/データベース



クラウドサービス





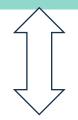


デバイスエクスプローラ OPCサーバー



イベント機能 (Luaスクリプト)

機器固有 プロトコル







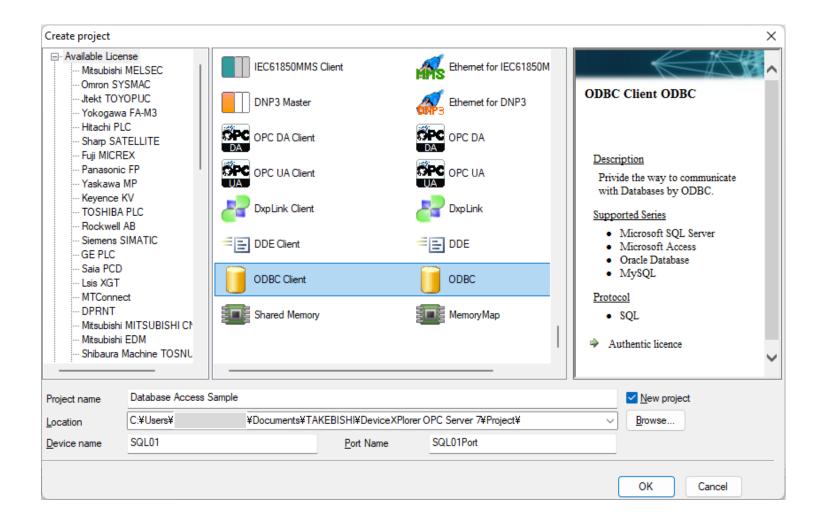


_ ODBCドライバー

Timestamp	Column01	Column02	1
YYYYMMDD	123	123.456	
YYYYMMDD	124	-198.221	
:	125	0.0123	
:	:	:	

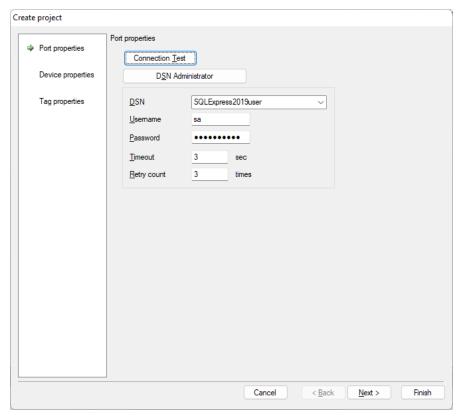
ODBCクライアント機能

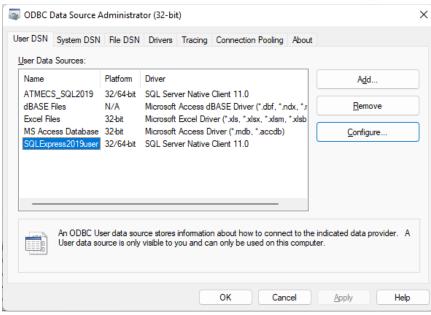
ODBCクライアント機能を利用します。



ポート設定

ポート設定ではODBCドライバーを指定します。
ODBC Data Source Administratorを使って、ODBCドライバーの設定を行います。

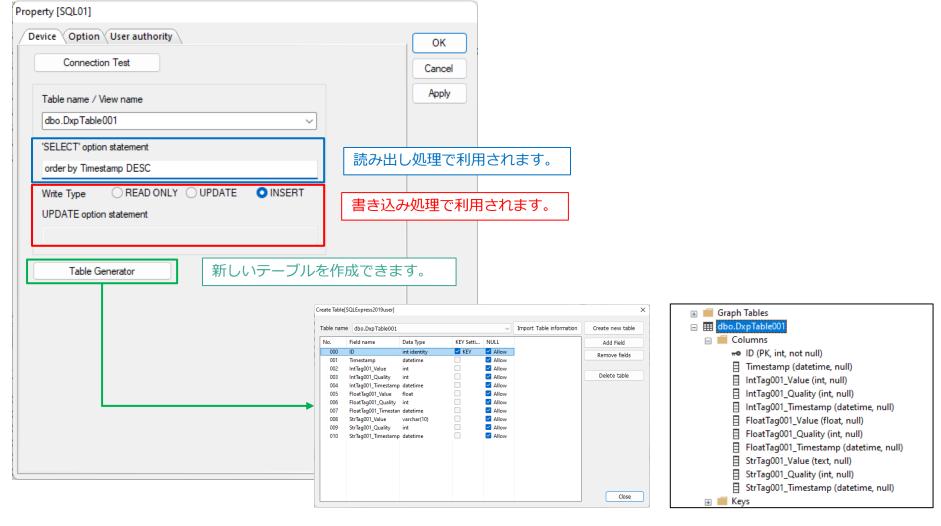




ランタイムがWindowsサービスプログラムで登録されている場合は、ユーザーDSNではなく、システムDSNが利用されるのでご注意ください。

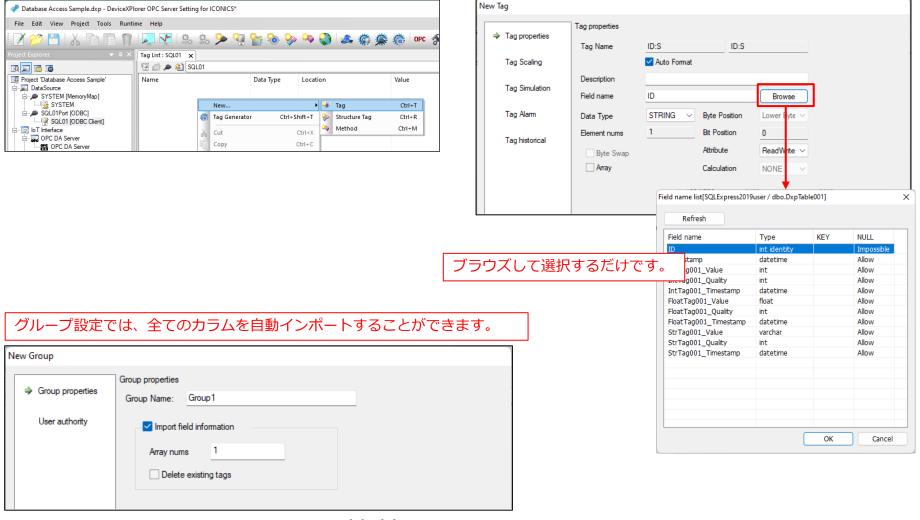
デバイス設定

デバイスは、データベースのテーブルに割り付けます。 既存のテーブルはもちろん、新しいテーブルを作成することもできます。



Copyright (C) 2024 TAKEBISHI CORPORATION

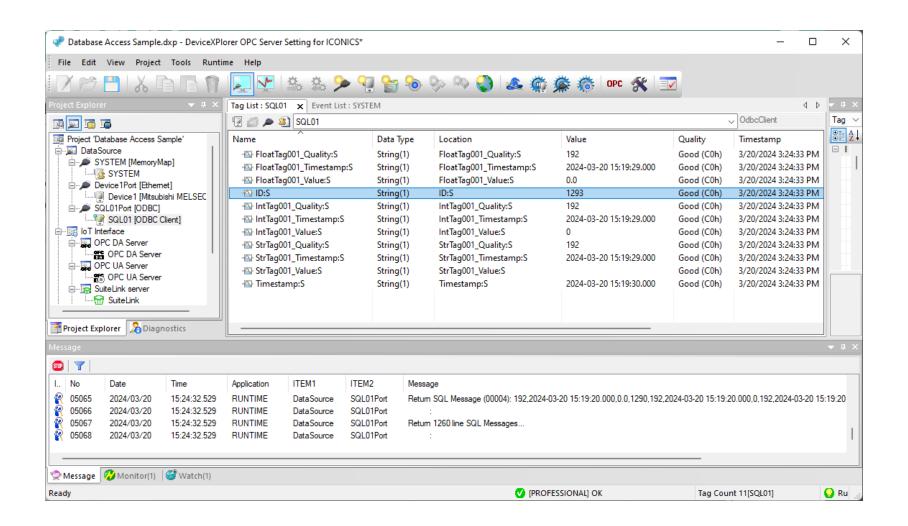
各タグはテーブルのカラムに紐づきます。 グループ設定では、全カラムに対応したタグを一括生成することもできます。



Copyright (C) 2024 TAKEBISHI CORPORATION

モニター(読み出し)

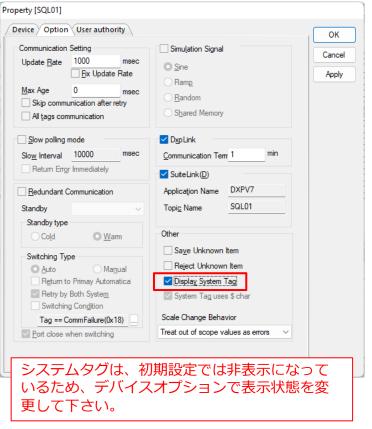
各タグをモニターすると、SELECT文が実行されます。

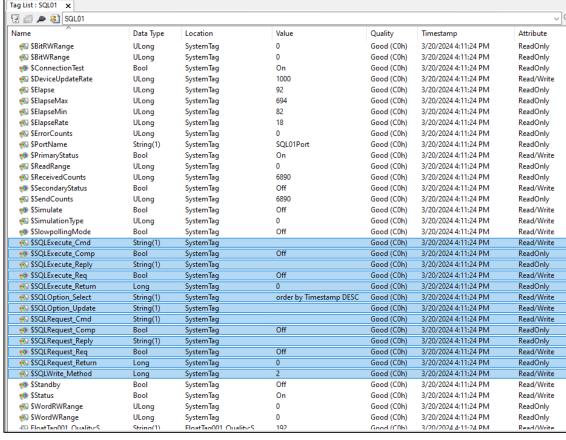


Copyright (C) 2024 TAKEBISHI CORPORATION

デバイスシステムタグ

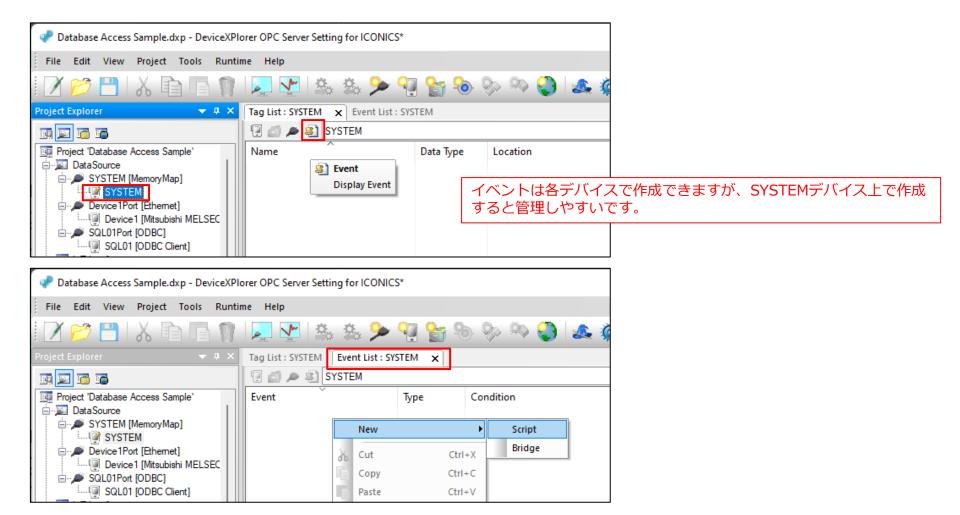
ODBCクライアントのデバイスは様々なシステムタグが備えられており、外部からの設定変更や任意のSQLコマンド実行が可能です。詳細については、ユーザーズガイドを参照ください。





データ収集方法

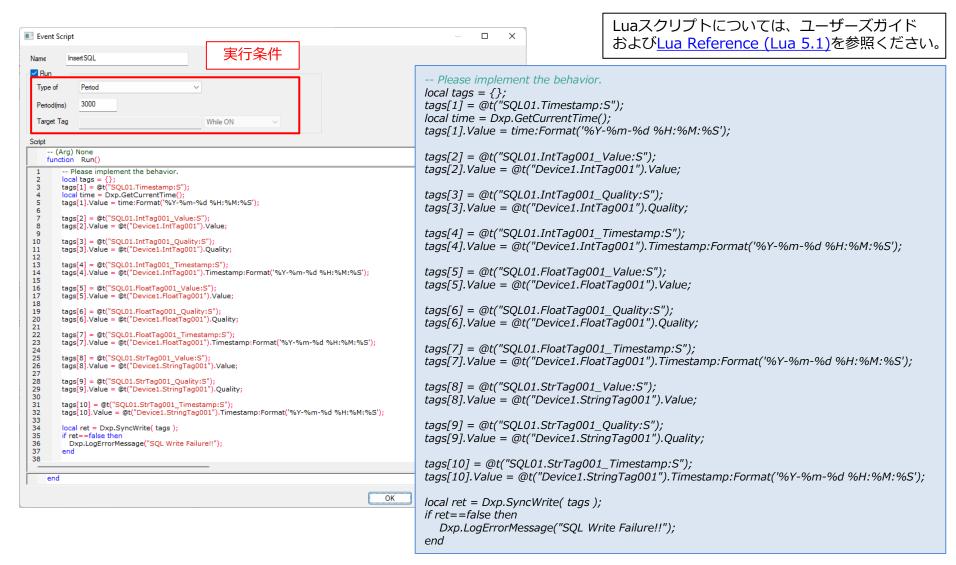
イベント機能を使ってデータ収集処理を実現できます。 イベント機能は各デバイス上で作成できます。 カスタムロジックはLuaスクリプトで記述します。



Copyright (C) 2024 TAKEBISHI CORPORATION

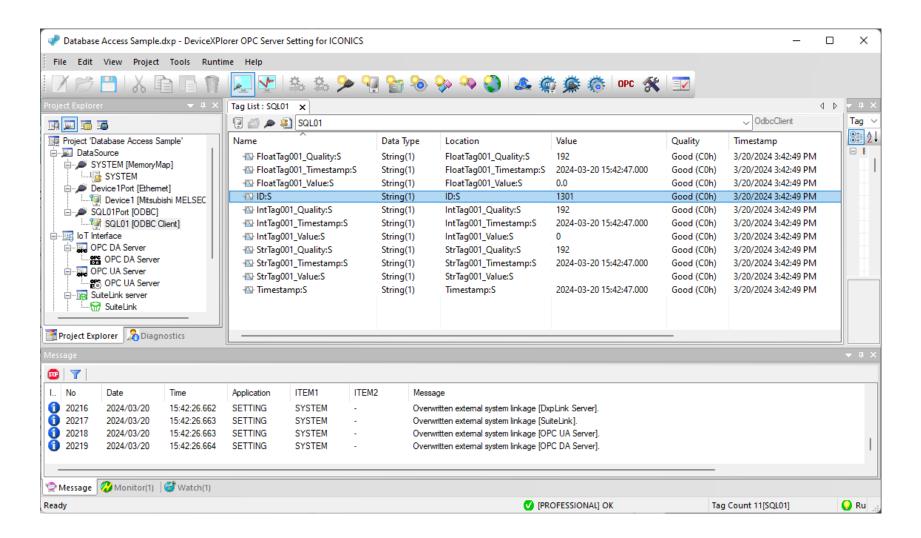
データ収集方法

以下は別デバイス(Device1)のタグデータを定期的に収集するサンプルスクリプトです。



データ収集方法

この例では、3秒ごとにDevice1のタグのデータがテーブルにINSERTされます。



Copyright (C) 2024 TAKEBISHI CORPORATION